

れが成長し、自信も持ち、経営者として同じように利益追求するにしても同じ道が歩けるのかという思いがあります。それぞれが将来に対するロマンを持ち、個性をかたちに表したくなる時期でもあります。

もうひとつは、かつてはひとつの家族のなかにいた兄弟が、今ではそれぞれが家族の長となっていることです。父親となり、やがておじいちゃんと呼ばれるようになるのです。凡人は、まず第一に妻や子供、孫あるいは両親のことを思いやるでしょう。兄弟のことを一番に考える人間は非常に希でしょう。

今後10年のうちには兄弟は初老となり、今述べた二つの要因によって「三本の矢」の団結力は薄まっていくでしょうし、場合によっては同族経営の弊害が一気に表面化する可能性さえあります。

東京証券取引所一部上場の外食企業であるS社は四兄弟による同族経営です。今年も史上最高の経常利益を見込んでいます。彼らは経営の健全性を保つために、ルールを取り決めています。その内容の一例を申し上げますと、

- 1、株式の所有数は同じ。
- 1、喧嘩したら所有株をすべて置いて出て行く。
- 1、子供を入社させない。後継としない。
- 1、夫人たちは経営に参加させない。
- 1、女同士は付き合わない。
- 1、お互いに近所に住まない。

というものです。

経営者としてなすべきことは、いつまでも滅びない強い会社を作り上げることです。

S社のルールがすべて正しいとは思いませんが、アークランドサカモトにおいても同様のルールがやがては必要になってきます。現在の私たち兄弟がそのルールを決定しておく必要があるということです。三兄弟それぞれに思いがあるためなかなか困難なことだとは思いますが、最も重要な経営課題のひとつと考え、五年くらいのうちにはまとめあげていきたいと考えています。

以上です。ありがとうございました。

会 員 の 声： 大野 新吉

外は吹雪で生け垣の椿の木々は雪をかぶって凍えそう。部屋の中は床暖房がきいてポッカポッカ、その部屋の水槽の中の熱帯魚（海水魚・淡水魚）達は水温28°～29°の中で悠々乱舞、この様を観ると日頃の手入れや管理の苦労はなんのその!!

この道に入って30数年、数える事の出来ない程の魚達をあの世に送ったやら。例会で石垣島への海水散歩をご案内しましたが是非一人でも多くの会員さんよりこの極楽を感じていただきたいと思ひます。

只今 近畿ツーリストさんと海中散歩やら離れ小島観光やらゴルフコースも入れて多くの会員皆様は振るって参加される魅力ある内容でお誘いしたいと計画を練っております。海水散歩はどんなもの？と疑問に思われる方々は我が家のアクアリウムにお酒付きでご案内いたしますので是非お申し付け下さい。ご一報お待ち申しております。

2月23日例会： 卓話 長谷川博一会員

3月2日例会： 卓話 三条市立第一中学校教頭 石坂 学様

3月9日例会： 職場例会 銭心亭 おゝ乃 12：30点鐘

3月16日例会： 卓話 羽賀一夫会員



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーの夢を 追い続けよう

例 会 日
1999. 2 . 16
累 計 No 595
当 年 No 29

国際ロータリー会長 ジェームス L. レイシー 第2560地区ガバナー 富山 富一

会 長／落 合 益 夫

幹 事／梨 木 建 夫

SAA／布 川 和 雄

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事： 卓話「兄弟」坂本勝司会員

出 席： 本日の出席 51名中 41名

先々週の出席率 51名中 43名 84.31%（前年同期87.27%）

【1月の出席状況：会員数51名 例会数3回 平均出席率93.47%（前年同月88.18%）】

先週のメイクアップ： 2月10日 三条RCへ 山上茂夫さん、本間茂男さん、中條耕二さん

落合益夫さん、大野新吉さん、石川勝行さん

15日 三条南RCへ 中條耕二さん

ビ ジ タ ー： 三条RCより 渡辺喜彦さん、小越憲泰さん

三条南RCより 相田明雄さん、鈴木罔彦さん、蕨沢喜一郎さん

会 長 挨 拶： 落合益夫



本日は、三条ロータリーより渡辺喜彦さん、小越憲泰さん、三条南クラブより蕨沢喜一郎さん、相田明雄さん、鈴木罔彦さん、ようこそいらっしゃいました。日本の将来の経済成長の為には、アメリカの様なベンチャー企業の育成が不可欠であると云われますが、その代表的企業がマイクロソフト社であり、インテル社がありますが、パソコンではもう一社りんごのマークのアップル社があります。

数年前は、国内でも大学や学生、あるいは印刷業界で売上げを伸ばした事もあり、その後は下火となりましたが、昨年の春からiMacというパソコンを販売しました。青色の半透明、斬新なスタイルでヒット商品になっております。秋には新モデルが発売され、価格は15万8千円。青、赤、黄の原色も含め、5色の半透明、性能は中の上、販売ネットも既存の販売ネットは利用しません。既存の販売店は値引きをするからです。必ず定価販売で販売しない店には商品の供給をしない方針です。特に若い女性に部屋のファッションとして、又、Eメールの使途として大変な人気であります。

我々の時代はその商品がもつ機能、性能、利用価値を買うわけですが、iMacの売り方はブランド商品の売り方と同じく、カッコイイ、値引しない、友達より早く持ちたい等の心理的な変化をうまく利用して商売しております。私共ではとても真似の出来ないことであります。

幹事報告： 梨木幹事

- ・富山富一ガバナーより 地区主要行事について
- ・三条中央ライオンズクラブより 「福祉フォーラム」協力に対する御礼
- ・国際ロータリーより ロータリー、ボランティアプログラムの評価調査書の提出について
- ・国際ロータリーより 第90回国際ロータリー年次大会案内（シンガポール）
- ・第2560地区社会奉仕委員長より 上半期社会奉仕委員会活動報告について
- ・市立第一中学校ボランティア委員長山崎めぐみより 寄付の御礼と使途の報告

ニコニコボックス： 16日現在累計 590,980円

落合益夫君 坂本さんの卓話を楽しく拝聴いたしますのでよろしくお願いします。

梨木建夫君 //

渡辺喜彦君（三条RC）天候は春らしくなりましたが、景気は今一歩、夜が暗ければ暗いだけ夜明はすばらしく、冬厳しければ厳しいだけ春はすばらしいと申します。きっとこの景気の後にはすばらしい社会が待っている事でしょう。今日はお世話になります。

韭沢喜一郎君（三条南RC）久々に貴クラブにメークアップさせて載きました。今後も宜敷くお願い致します。

木宮隆君 所用で早退します。坂本さんの卓話が聞けず残念です。

本間建雄美君 坂本さん卓話楽しく拝聴させて載きます。

佐藤義英君 坂本さんの卓話に期待して!!

小林満君 坂本さん卓話御苦勞様です。楽しみにして居りました。

山中正君 先週は私の卓話聞いていただいてありがとうございました。お店の名前を言い忘れました。『みょんどん』です。木戸店。石山店。お近くにお寄の際はご来店ください。

柄沢憲司君 坂本さんの卓話楽しみにしています。

中條耕二君 坂本さんの卓話に期待をこめて。

吉川吉彦君 坂本さんの兄弟愛をゆっくり聞かせて下さい。

山崎勲君

坂井勝司君 卓話のキカイを与えて下さいまして有難うございます。

米山奨学会：

今井克義君 今年の初握りでいただきました。相手の人の名前は本人の名誉のために申しあげられません。

羽賀一夫君 早退します。坂本さんの卓話「兄弟」を聞く事が出来ません。後で個人的に聞かせて下さい。

卓話：「兄弟による同族経営」 坂本 勝司会員



大勢の方々に前にして、お話するほどの知識も話題も私は持ち合わせていません。しかも、日本人特有の建前で話するというのも、私は実に苦手です。そこで本日は、自分にかかわることについて本音でお話をしてみたいと考えました。

「兄弟による同族経営」というテーマでお話をしたいと思います。現在、アークランドサカモトは、ご承知のとおり坂本三兄弟が経営のかじとりを行っています。昭和16年生まれの兄が会長、昭和20年生まれの私が社長、そして昭和23年生まれの弟が専務を務めています。社業が発展したこともあって毛利元就の三人の息子たちの「三本の矢」のようだとよくお世辞をいただきますが、果たしてそうでしょうか。

なるほど、若い頃はまさに「三本の矢」であったかもしれません。子供ながらに「学校を卒業したら、父の仕事を手伝いたい。三条あるいは業界で名のある会社になりたい。」という夢がいつのまにか芽生えていた記憶があります。三人の兄弟は実際、学校を卒業したあと共に見習修行を経て、当然のごとく集まり一緒に仕事することになります。

父の影響を強く受け、父の理念を受け継いで三人が同じ方向で一生懸命努力した時代でした。めざすものが大きく、沢山ありました。強く、大きく、豊かな会社をつくりたいという同じ目標もっているわけですから、兄弟のみならず家族も含めて一致団結できたのです。

その結果、日本経済が高度成長期にあったこと、あるいは成長性の高かったホームセンター業界に経営資源を重点的に投入してきた幸運もあって、アークランドグループは成長を続けることができました。

そして、現在も三兄弟がそれぞれに責任をもちながら、強固な経営体制を築いております。その主なものを上げてみますと、一つは三人が平等だということです。たとえば、収入、保有株式数は全く同じです。父の指導もありますが、兄の寛容さに感謝しています。二つには経営最高会議の運営です。毎週月曜日に開催し、重要事項の取決め、合意を行い、スピーディかつ変化に機敏に対応できるようにしています。さらに、三番目には会長、社長、専務がそれぞれの役割、持ち場を尊重しながらお互いの領分をおかさない体制をとっています。会長の場合ですと、グループ代表、顔であり、まとめ役、そして銀行、証券、保険会社を含め資本政策を実行していく立場にあります。社長の私と専務は、お互いが担当する営業部門を経営していく役割です。今後、こうした関係、経営体制が10年程度続くのではないかと考えています。

しかしながら、最近、次世代への経営のバトンタッチを真剣に考えるようになってからは、ひとつの乗り越えなければならないハードルがあることをはっきりと認識するようになりました。会社が大きくなり、私たち兄弟が年令を重ね、豊かになったことによって自然と芽生えてきた壁です。

ひとつは、兄弟が各々もう一段高いレベルの経営者を目指して歩き出していることです。それぞ